

# 浅野さち通信



市民相談は浅野さちまで！ 090 (1763) 7785

発行者：市川市鬼高1-14-3 浅野さち 令和3年12月発行



## 令和3年12月議会報告 **いのちと健康を守る**

皆様にはいつも真心のご支援ご理解を賜りまして誠にありがとうございます。

3回目のワクチンが始まる中、引き続き感染対策に講じながら社会活動も少しずつ活発になってきました。令和4年は皆様にとって心身ともに安穏な一年になる事を心からお祈りいたします。

12月定例議会にて一般質問を行いました。

### 1 障がい児・医療的ケア児を受け入れる保育園体制と家族支援について

#### 2 福祉行政

- 視覚障害者の暗所視支援眼鏡を給付対象への追加について
- お困りごとのへのサポート体制について

#### 3 道路行政

- 小栗原架道橋の歩道整備の進捗状況について
- 鬼高3丁目ショップス前交差点の安全対策について
- 産業道路を使用するのバス運行の進捗状況について

#### 4 学校における部活動

- 教員の働き方改革における部活動の考え方について



## 1 小栗原架道橋の歩道整備について

**Q** 市川市側は鬼高3丁目から田尻3丁目また、船橋市側は本中山5丁目から6丁目に係る京葉道路を跨ぐ架道橋に対し、過去2回の質問にて新たに歩道整備の予定と伺っています。概要と今後の工事予定と及び完成時期を伺います。

**A** 京葉道路の船橋側に張り出し構造で、歩道幅は2メートル、車道部と歩道部が明確に分離されます。しかし、架道橋の北側、南側どちらも地上部から斜路部に接続するまでの間、約40メートルは歩道が構造上困難な為、今までのグリーン帯の歩道を使用します。令和4年度から工事が始まり、令和6年度に完成予定となります。工事中は通行止めや迂回路等近隣住民にご負担をおかけしますので十分な説明でご理解とご協力をお願い致します。



## 2 鬼高3丁目ショッブス前東側及び西側交差点の安全対策

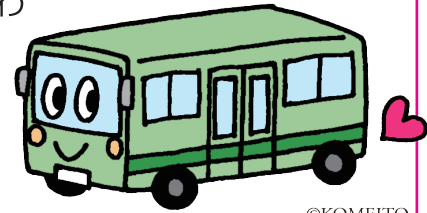
かねてから要望していました。両交差点に右折の矢印式信号機が付きます!!  
設置者の警察の考えは矢印式信号機導入後、交通の変化を注意していくとの事ですが、歩行者の安全の為には歩車分離式信号機が有効の為引き続き設置を要望致しました。

## 3 産業道路を使用してのバス路線計画について

**Q** 昨年の9月議会にて、バス路線の復活を要望致しました。その後の進捗状況について伺います。

**A** 地元要望を踏まえバス事業者に検討を要望してきました。この度京成トラジットバス会社より、外環道路が開通したことから渋滞が緩和し、定時制の確保が可能となったため市川駅から西船橋駅を結ぶ新設路線を考えています。今後、転回場所等について株式会社市場と話し合いを始めています。現在、バス停設置位置については、警察署からの了承を得た事から市場で開催された10月の「いちかわごちそうマルシェ」で新路線の告知が行われました。

今後の運転開始を見守っていくと共に、更に市民の利便性向上に期待し、運行開始時期の決定の際には速やかな市民への周知をお願い致します。



©KOMEITO

## 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行!

**Q** 障がい児・医療的ケア児の入園に対し配慮されている点また家族への支援体制を伺います。

**A** 通常の利用調整とは別の定員枠を設けて調整を行う事で入園の機会を増やす事としました。事前に保育園受け入れについて確認したところ合計87施設から可能との回答を受けており市内の保育園の「障がい児保育」へ真摯に取り組む姿勢が確認できました。現在18名の申し込みがあり、その内、医療的ケア児についても2名の申し込みを頂いています。今後看護師等の配置に必要な費用、備品購入費、人材確保、また受け入れガイドラインの策定を検討していきます。家族への支援体制はサービスの紹介や、医療、福祉、教育等の関係機関と総合調整を行う「医療的ケア児等コーディネーター」の設置を協議しています。ご家族に寄り添って支援して頂きたい事を要望致しました。

## お困りごとのサポーターについて!

**Q** 高齢者生活支援サポーターの取り組みについて伺います。

**A** 例えば、ゴミ出しや電球の交換、庭の草むしり等介護保険サービスでは対応が難しく、制度の狭間となるサービスへの対応として令和元年より「高齢者生活支援サポーター養成研修」をはじめました。現在114名の方が登録しています。活動として1つ目は友人、親戚の方々にちょっとした手伝いを個人です。2つ目は市内の高齢者生活支援サービス団体に所属して活動する。3つ目は同じ志を持った仲間同士で、新たに団体を立ち上げて活動する。このような3つの活動方法があります。



©KOMEITO

今後、お困りごとのある方が適切な支援に結び付ける取り組みが大事です。その為に情報通信などの習得を行えるように現在「高齢者スマホ教室」を開催しています。応募者が多い為更なる拡充を要望致しました。